

『ジョン・カーペンター読本』

山崎圭司・樋口泰人 編、黒沢清、青山真治、中原昌也、三宅唱、田野辺尚人、真魚八重子、マキヒロチほか 著

10月19日発売

この秋、『ゼイリブ』『遊星からの物体 X』がリバイバル公開されるジョン・カーペンター『ハロウィン』の世界的大ヒットでも知られる彼の魅力をファンたちが語るそれぞれの視線によるカーペンター像が重なり合い、そして新たなカーペンターが生まれる

凄い特殊造形と、凄い俳優と、凄い音楽があれば凄い映画ができ上がる。他は何もいらぬ。それは、1982年カーペンターのこの作品『遊星からの物体 X』によって実証された映画の基本原理だ。

——黒沢清(映画監督)

黒沢清や青山真治をはじめ、日本でも多くの映画監督たちに多大なる影響を与えたジョン・カーペンター。近年は作品に恵まれないが、人気は衰えることはない。『ダークスター』『ハロウィン』『ザ・フォッグ』『ニューヨーク 1997』『遊星からの物体 X』『ゼイリブ』『エスケープ・フロム L.A.』……。数々の名作が多くの人々の心をつかみ熱狂へと導いた。いったいそれはどういうことだったのか？ 心をつかまれた多くの人々が集まって、「わたしはいかにしてカーペンター作品に心をつかまれたか」を語る。その声の集積は、未来に向けて更新されて続ける新たなカーペンター像を生み出すはずだ。

■ジョン・カーペンター JOHN CARPENTER

1948年、ニューヨーク州カーセージ生まれ。父親の8ミリカメラでSF映画を撮り始める。南カリフォルニア大学映画学科に進学、1970年、在学中に制作に関わった短編映画『ブロンコ・ビリーの復活』がアカデミー短編映画賞を受賞した。同年、初長編作品『ダークスター』(74)の制作を開始、1975年に55館で封切られる。カーペンターの名前を一躍世界的なものにした『ハロウィン』(78)は最も成功したインディペンデント映画となり、世界興収は5500万ドルを記録した。その後、『ニューヨーク 1997』(81)、『遊星からの物体 X』(82)、『ゼイリブ』(88)、『マウス・オブ・マッドネス』(94)、『エスケープ・フロム L.A.』(96)など。2018年10月19日(『遊星からの物体 X』デジタル・リマスター版の日本公開と同日)に全米公開予定の『ハロウィン』シリーズ最新第11作『Halloween』(18)では製作総指揮を務め、音楽も担当している。カーペンターがシリーズのプロデューサーに関わったのは『ハロウィンⅢ』(82)までなので、36年ぶりのシリーズ復帰となる。

[製作・編集：株式会社 boid / 発売：株式会社 JRC]

番線印	ご注文	発行：boid	分野
	冊	ジョン・カーペンター読本 山崎圭司・樋口泰人 編 黒沢清、荒木啓子、青山真治、中原昌也、三宅唱、田野辺尚人、真魚八重子、マキヒロチ ほか著	芸術
	ご担当	A5判 102ページ 定価：本体 1,200 円＋税	出荷条件： 返品条件付 注文扱い
	様	新刊 ISBN 978-4-86538-078-1	

ご注文・お問合せは JRC へ お申し込み FAX 03-3294-2177

JRC 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-34 風間ビル 1F

TEL：03-5283-2230 E-mail：info@JRC-book.com

詳細：www.boid-s.com

*全ての取次ぎへの出荷可能です。